

大学自己評価部会だより

第10号 (平成21年3月)

大学の理念

1. 高度な専門性を持った歯科医師の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

アンケート調査結果を報告します

大学院対象の調査結果を平成18年度と平成19年度で比較しました。

1) 主科目、副・選択科目の評価得点数の比較

平成19年度は、副科目と選択科目のシラバスをつくり、講義の充実を図りました。満足度・達成度を5段階評価した結果、副科目・選択科目の満足度および達成度が有意に上昇したことがわかりました。

アンケート内容	平成18年度	平成19年度	Mann-Whitney のU検定 (P値)
主科目 満足度	3.5±1.0	3.8±0.8	0.4078
主科目 達成度	3.2±0.8	3.6±0.8	0.1651
副科目・選択科目 満足度	2.9±1.1	3.6±0.7	0.0302
副科目・選択科目 達成度	2.8±1.0	3.4±0.7	0.0156

副科目・選択科目の満足度・達成度が向上!!

2) 研究に関する意識および実態調査結果の比較

大学院生の研究意識および実態に関する質問項目を5段階で評価し、数値化しました。平成18年度と19年度の間には、大きな変化は認められませんでした。

アンケート内容	評価(あるいは実態)					平成18年度	平成19年度
	5	4	3	2	1		
本学で行う研究について研究するための研究室や場所は充分にありますか	大変充分である	かなり充分である	まあ充分だ	あまり充分でない	まったく充分でない	3.3±0.9	3.1±1.2
現在の研究指導に満足していますか	大変満足している	かなり満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	3.2±1.0	3.3±1.1
現在の研究の進捗状況はどの程度ですか	目標に充分到達している	目標に概ね到達している	目標にある程度到達している	目標への到達が不十分である	まったく進んでいない	3.0±1.0	3.4±0.9
本学では大学の目的に沿った研究活動が活発に行われていると思います	大変充分に なされている	かなり充分 である	まあ充分だ	あまり充分 でない	まったく 充分でない	3.1±0.8	2.9±0.8

3) まとめとお願い

主科目や、研究に関する意識および実態調査の評価点数には変化が認められませんでした。平成19年度から改正を行った副科目・選択科目では、満足度および達成度とも評価が向上いたしました。現在、主科目の改正を行っております。

引き続き、大学院教育の改革にご協力をお願いいたします。